

東紀州地域外国語表記ガイドライン

(第1版)

令和4年3月

目次

1. 目的
2. 多言語対応の対象となる情報
3. 表記言語
4. 表記言語に関する補足
5. 対訳語一覧
6. 解説文章への対応
7. 非常時等の対応
8. 地域等における多言語表記の統一性・連続性の確保
9. 標識やサインのデザインや設置方法に関する留意点

1. 目的

平成25年6月11日の観光立国推進閣僚会議において決定された「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」において、美術館・博物館、自然公園、観光地、道路、公共交通機関等について、外国人目線に立った各分野に共通するガイドラインを策定し、多言語対応の改善・強化を図ることとされたところである。

平成26年3月、上記趣旨に沿って、「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」（以下「観光庁ガイドライン」という。）が作成された。

当該観光庁ガイドラインを踏まえ、東紀州地域を訪れる外国人観光客が安心、安全、快適に旅行ができるよう、地域内の観光関連施設等における外国語表記の整備を進めるにあたり、東紀州地域における外国語表記の統一性や連続性を確保するため、外国語表記に関するガイドラインを作成した。

2. 多言語対応の対象となる情報

◆名称・標識・サイン・情報系

■タイプA：禁止・注意を促す

(例)

- 立入禁止、危険
- 禁煙、飲食禁止
- 非常時等の情報提供

■タイプB：名称・案内・誘導・位置を示す

(例)

- 駅名、バス停名表示
- 路線図、停車駅（停留所）案内
- 施設名称表示
- 駅構内図の表記
- ICカードの使い方

◆解説系

■タイプC：展示物等の理解のために文章で解説をしている

(例)

- 展示物の作品解説
- 展示テーマの解説
- 展示会全体の解説

■タイプA：禁止・注意を促す



【尾鷲市 熊野古道センター】



【紀宝町 ウミガメ公園】



【尾鷲市 三木里海水浴場】



【熊野市 鬼ヶ城センター】



【紀北町 始神テラス】



【熊野市 道の駅 花の窟】

■タイプB：名称・案内・誘導・位置を示す



【紀北町 馬越峠登り口】



【尾鷲市 熊野古道センター】



【熊野市 松本峠登り口】



【御浜町 七里御浜 TIC】

■タイプB：名称・案内・誘導・位置を示す



【御浜町 阿田和駅周辺】



【熊野市 鬼ヶ城】



【熊野市 鬼ヶ城センター】



【尾鷲市 三木里海水浴場】



【紀北町 始神テラス】



【熊野市 道の駅 花の窟】

■タイプB：名称・案内・誘導・位置を示す



【熊野市 熊野市駅前バス停留所】



【熊野市 熊野市駅前タクシー乗り場案内】



【御浜町 道路標識】



【熊野市 熊野市駅待合所】



【御浜町 阿田和駅待合所】



■タイプC：展示物等の理解のために文章で解説をしている

屋外展示
古道の石畳道

本館への道は、熊野古道の石畳道を再現したものです。石畳道は三重県教育委員会が事前に各峠道の実測調査を行い、特色ある峠道をモデルとして3ヶ所選びました。再現にあたっては、特にその構造と施工状況を重視しています。

石畳の石材については、国土交通省が整備する一般国道42号熊野尾鷲道路のトンネル工事で、掘削の際に発生した岩石を再利用させて頂きました。

The path leading to the main building was modeled on the three types remaining at Kumano-Kodo. They were based on the archaeological research of Mie Prefectural Board of Education.

Construction of a new road close to Kumano-Kodo gave a supply of unwanted stones similar to those used on the original Kumano-Kodo from which this path was made.

【尾鷲市 熊野古道センター】

吉野熊野国立公園・世界遺産 鬼ヶ城のご案内
 Onigajo (The World Heritage Site in Yoshino-Kumano National Park)

This outdoor display features a detailed map of Onigajo, a World Heritage Site. The map is surrounded by informational panels in both Japanese and English, detailing the site's history, its strategic importance, and the surrounding landscape. The title at the top reads 'Onigajo (The World Heritage Site in Yoshino-Kumano National Park)'.

【熊野市 鬼ヶ城】

熊野市の観光名所 Things to do in Kumano

This display board lists six scenic spots in Kumano: 1. 鬼ヶ城 (Onigajo), 2. 丸山千枚田 (Maruyama Sengatai), 3. 獅子岩 (Shishinwa), 4. 花の窟 (Hana-no-Iwaya), 5. 才助峠 (Saijutsu no Toge), and 6. 熊野古道伊勢路 (Kumano Kodo Iseji). Each panel includes a photograph, a title, and descriptive text in both Japanese and English.

【熊野市 熊野市駅前バス停留所】

花の窟 Hana-no-Iwaya

花の窟は、神々の母である伊弉諾大神（イザナミノミコト）が火の神・杵尊大神（カグツチノミコト）を産み、均かれて亡くなった後に築られた御座です。平成16年7月に「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として世界遺産に登録されました。

Hana-no-Iwaya is the tomb where Izanami-no-Mikoto, the mother of the gods, was buried after she burned to death while giving birth to the fire god Kagutsuchi-no-Mikoto. In July 2004, it was registered as a World Heritage Site as part of the Sacred Sites and Pilgrimage Routes in the Kii Mountain Range.

Hana-no-Iwaya-jinja Shrine is said to be the oldest shrine in Japan, and it is also recorded in the Nihon Shoki (Chronicles of Japan). It has been a sacred place since ancient times and continues to inspire strong devotion, attracting many worshippers from all over the country. The twice-yearly festival of Hana-no-Iwaya-jinja Shrine is held on February 2 and October 2. After a dance dedicated to the gods, a rope about 170 meters long, which is said to be the longest in Japan, is passed from a sacred rock standing 45 meters high to the southern corner of the precincts. This Otsunakae Shingi ("rope-changing ritual") has been carried out since ancient times, and has been designated as an Intangible Folk Cultural Property of Mie Prefecture.

【熊野市 道の駅 花の窟】

3. 表記言語

◆名称・標識・サイン・情報系

■タイプA：禁止・注意を促す

英語併記を基本とし、英語以外の表記の必要性が高い施設では、中国語、韓国語、その他の必要とされる言語も併記するのが望ましい。

※ピクトグラムで十分必要な情報を伝えることができる場合は、ピクトグラムの使用が有効であり、外国語の併記を必ずしも必要としない。

■タイプB：名称・案内・誘導・位置を示す

英語併記を基本とし、英語以外の表記の必要性が高い施設では、中国語、韓国語、その他の必要とされる言語も併記するのが望ましい。

※ピクトグラムで十分必要な情報を伝えることができる場合は、ピクトグラムの使用が有効であり、外国語の併記を必ずしも必要としない。

◆解説系

■タイプC：展示物等の理解のために文章で解説をしている

英語併記を基本とし、英語以外の表記の必要性が高い施設では、中国語、韓国語、その他の必要とされる言語も併記するのが望ましい。

※ ピクトグラムについては、公益財団法人「交通エコロジー・モビリティ財団」が日本財団の助成を得て設置した「一般案内用図記号検討委員会」で定めた「標準案内用図記号ガイドライン」で125種類（平成26年3月現在）が示されている。さらに、そのうち116種類（平成26年3月現在）がJIS（日本工業規格）化され、JIS Z 8210として制定されているところ、ピクトグラムの活用にあたっては、これらのピクトグラムを使用することが、統一性・連続性の確保の観点から望ましい。

4. 表記言語に関する補足

◆ 駅名、バス停名や路線名等のナンバリング

駅名等を簡略記号化するものであり、駅名等に慣れ親しんでいない者が特定の駅を識別する際等、外国語表記を行う上で有効な補助手段である。

◆ LED案内表示等

LED表示や、行先表示のためのフラップ式案内表示等、限られたスペースでスクロール・切替等により、外国語を併記した情報提供を行う際は、伝えるべき情報量、外国人の利用実態等を考慮し、適切な内容・頻度・言語でこれを実施することが望ましい。

◆ 補助媒体

パンフレット・チラシ等の紙媒体やモバイル媒体による情報提供、係員による口頭での案内、音声案内（放送、音声ガイド等）で、多言語対応を補うことも効果的である。

- 紙媒体やモバイル媒体により情報提供する場合は、バーコード等の活用も有効な手法である。
- 音声案内については、適切な内容・頻度・言語でこれを実施することが望ましい。
- 訪日前に母国においてインターネットで必要な情報を取ってもらうことも重要であるため、情報提供を行うウェブサイト等の多言語対応を充実させることも効果的である。

5. 対訳語一覧

観光庁ガイドラインで示された対訳方針を踏まえ、東紀州地域の観光地等に対する具体的な対訳を以下のとおり定め、本対訳及び基本ルールは随時更新を行っていく。

なお、本ガイドラインにて定める事項は、あくまでも原則として定めるものであり、表記を行うにあたり、状況に応じて他の表記方法を用いることも可能である。

■ 東紀州地域固有名詞対訳一覧

■ 共通表記表現に関する基本ルール一覧

【補足】

スペース・視認性の観点等から略語を用いることが適当と考えられる場合は、略語を用いることができる。

(例)

「河川」 : River ⇒ Riv.

「山」 : Mountain ⇒ Mt.

「通り」 : Avenue / Street / Boulevard ⇒ Ave. / St. / Blvd.

「駅」 : Station ⇒ Sta.

6. 解説文章への対応

展示物等に対する確実な理解を深め、対象施設に対する満足度を向上させるべく、下記の条件を満たす展示物等については、解説の翻訳に併せて、外国人向けの補足説明を加えることが望ましい。

◆補足説明を加える条件

解説の対象となっている展示物等が、日本特有のモノや事象、出来事などをモチーフにした展示物等



日本語解説を単に直訳しただけでは、その展示物等の意味が一般の外国人には伝わらない展示物等

◆補足説明の内容

- ①展示物等にてモチーフとされた日本特有のモノや事象、出来事などについて解説する。
- ②日本について知識のない訪日外国人旅行者の視点を意識した記載内容とする。
- ③展示物等に外国の文化や歴史との接点があり、それに言及することが、訪日外国人旅行者が我が国の歴史・文化を正しく理解し、共感・理解を持つことに資する場合には、その文化・歴史についての説明を積極的に盛り込むものとする。
- ④文章量としては、メインの解説文についての補足であることから、数行程度を想定するが、必要性により適宜判断する。

補足内容のイメージ

補足内容のイメージ

一定の条件を満たす解説文章については、このような補足を加えることによって、訪日外国人旅行者の理解を助ける。

日本書紀
Nihon Shoki
(Chronicles of Japan)

(Introduction to Nihon Shoki)
Nihon Shoki is the oldest official history record edited under the order of the Japanese Tenno (emperor) in the year 720AD. It consists of 30 volumes written totally in classical Chinese. The book describes stories of each Japanese Tenno from the Age of the Gods who created the sky and earth to Jito Tenno, 41st generation of Japanese Tenno.

花窟神社は日本書紀にも記されている日本最古の神社といわれており、・・・

Hana-no-Iwaya is said to be the oldest shrine in Japan, and it is also recorded in the Nihon Shoki.・・・

7. 非常時等の対応

外国人旅行者が日本を訪れ、安心して旅行して回り、無事に帰国するためには、災害や事故、火災等の非常時や、大雪の影響による長時間の運転見合わせなど公共交通機関における異常運行等においてこそ、多言語対応が極めて重要なものとなる。

非常時等の案内表示イメージ

◇避難場所案内



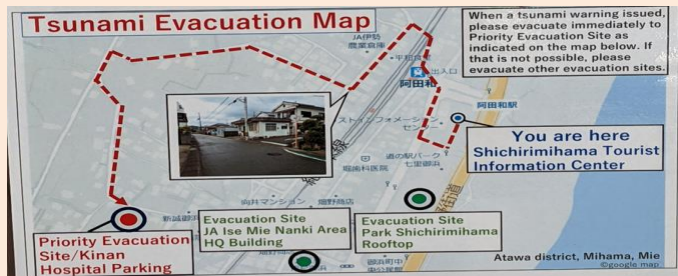
◇津波注意



◇海拔表示



◇警察・消防連絡先



8. 地域等における多言語表記の統一性・連続性の確保

多言語対応については、可能な限り地域や各種施設の間で統一性・連続性を確保することが望ましい。

◆名称・標識・サイン・情報系

■タイプA：禁止・注意を促す

直ちに禁止・注意事項を理解できるように、見た目の分かりやすさが重視される情報である。このため、ピクトグラムの活用も有効である。

※地域における統一性・連続性の確保に留意しつつ、これを積極的に活用することが望ましい。

■タイプB：名称・案内・誘導・位置を示す

多言語表記の不統一や非連続性が原因で、訪日外国人旅行者が迷うことがないように、地域単位でその統一性・連続性を確保することが必要である。

統一性・連続性の確保の為に以下のような事業者への情報提供を行うことが望ましい。

- 地図事業者
- 地域で外国人向けのガイドブックを提供する事業者
- ネットやアプリ等で地域の情報提供を行う事業者
- 日本のガイドブックを出版している海外の出版社

9. 標識やサインのデザインや設置方法に関する留意点

◆デザインに関する留意点

標識やサインの新設・改修を行う際には、周辺の自然環境や空間との調和を図る観点から、また、訪日外国人旅行者にとって分かりやすいものとなるよう、適切な限り統一感を持たせるとの観点から、標識やサインのデザインにも留意することが適切である。

◆設置方法に関する留意点

設置場所が過度に集中して、お互いの設置効果を弱めるような設置がなされていないか検証し、問題があれば下記のような方法で解決していくことが望ましい。

- 利用者の移動や鑑賞の妨げにならない設置位置を検討する。
- 屋外で他の管理者の設置標識・サインと並ぶような場合、以下の取組を検討する。
 - ①情報が重複する標識やサインが存在する場合は、過剰な標識やサインを撤去するなどして、情報の重複を避ける。
 - ②複数の標識やサインが近接し景観を損ねる場合は、一つの設置物にまとめる。

